實入秋花野辺萱二編

己酉
孟春
發版

藤慶板

上

へ13
3766
3

柳下亭種員譯

一雄齋國輝画

應需
袁題豊國画

下

へ13
3766
4

へ13
3766
3

花野苅萱

二編 上巻

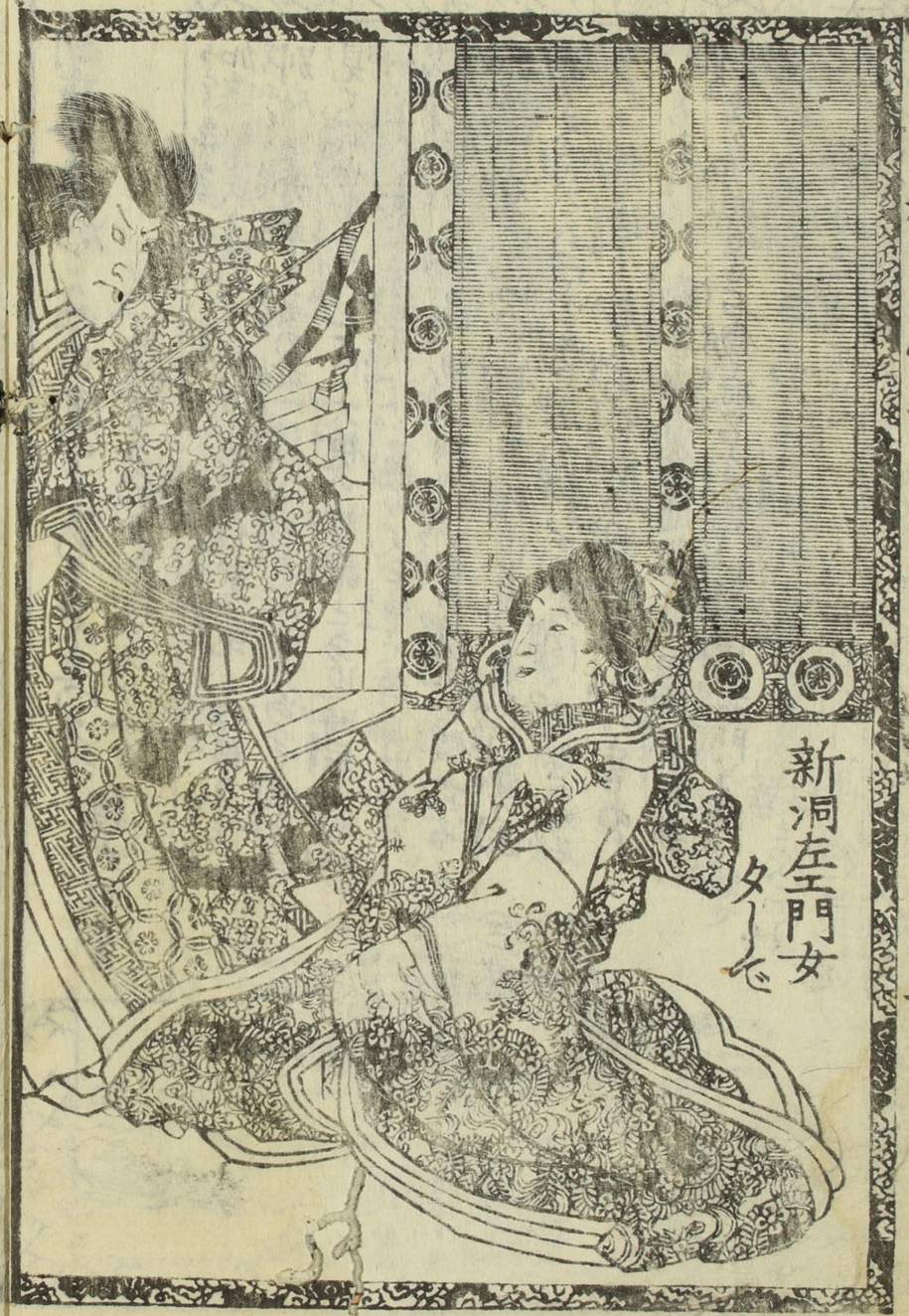
種員筆話
國輝画圖

松林堂梓

新古今集かるやの関ゆふのとつえつふ
べもゆるさぬとちゐあるけり　贈大政大臣

加藤繁氏が發心の説ハ武家名傳記ニ見ル　伊豫の住人別府通秀妻と妾の妬心深くて髻の小蛇とあらして嗟合を見て忽世を捨行ままは大徳の智識とあり時宗の閑山一遍上人の妻をとり且其子石働が父を尋て苦身世話ハ元享釈書ニ載る祈親法師が亡父母の後生を願ふなり高野山ニ登りとふを撮合せて作りしのとぞ又刈萱の法号さ前ニおぼゆる菅家ニ詠かるやの関ハ筑志の地名それニ依て設し名と先哲既ニ明辨あり夫ハ古もあれかくもあれ是ハ勸善懲悪の他ニかゝるの種史事實ハ別府が祈親でも石働麻呂が孝行記刈萱来門が發心録で何國までも通るあらかるやの関耶　不咎そのまゝ通ることなり

嘉永己酉正月　柳下亭種員誌


新洞左門女
タ〻ら

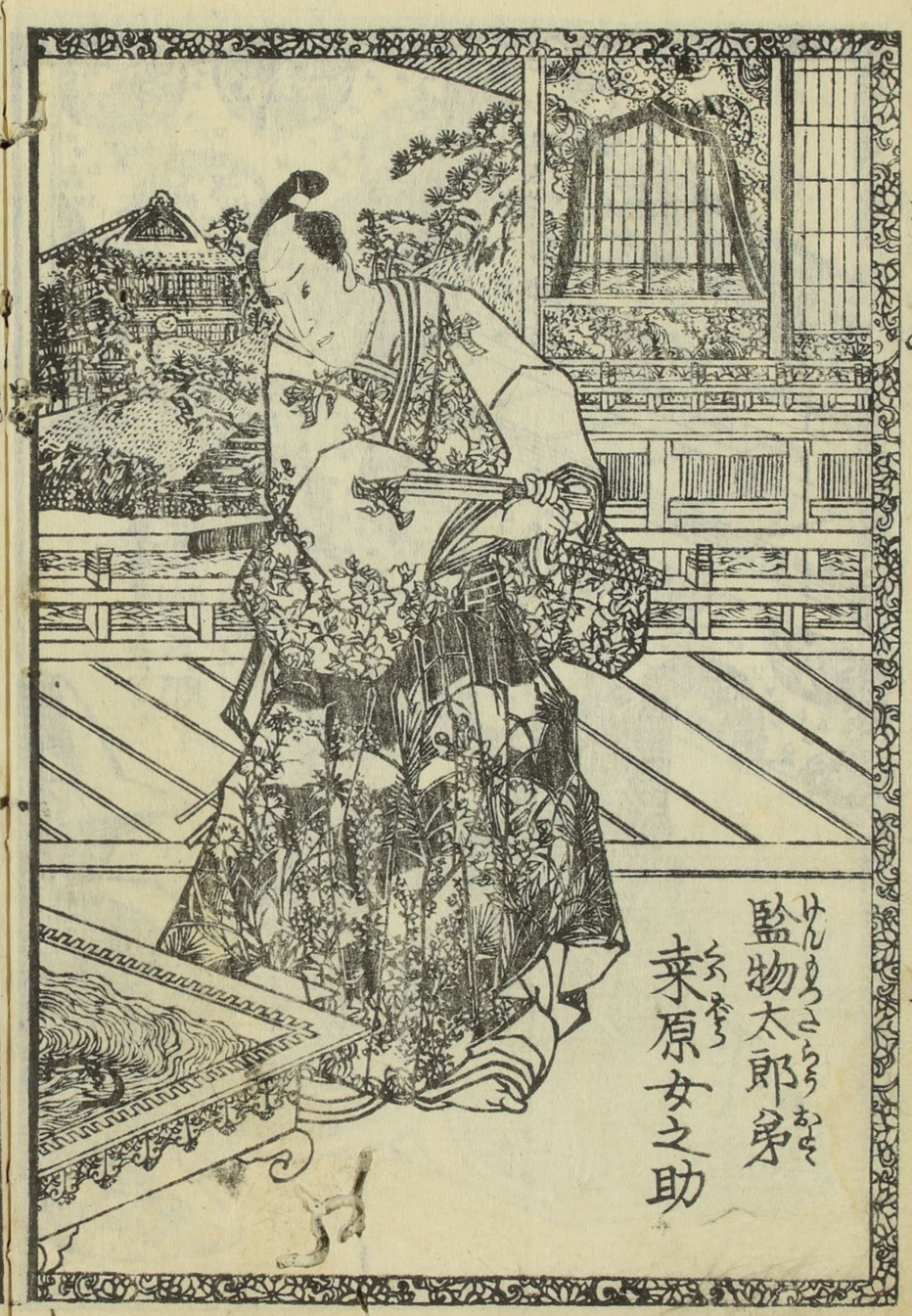
豊前大領
大内外義弘
義弘奥方
綾ノ臺

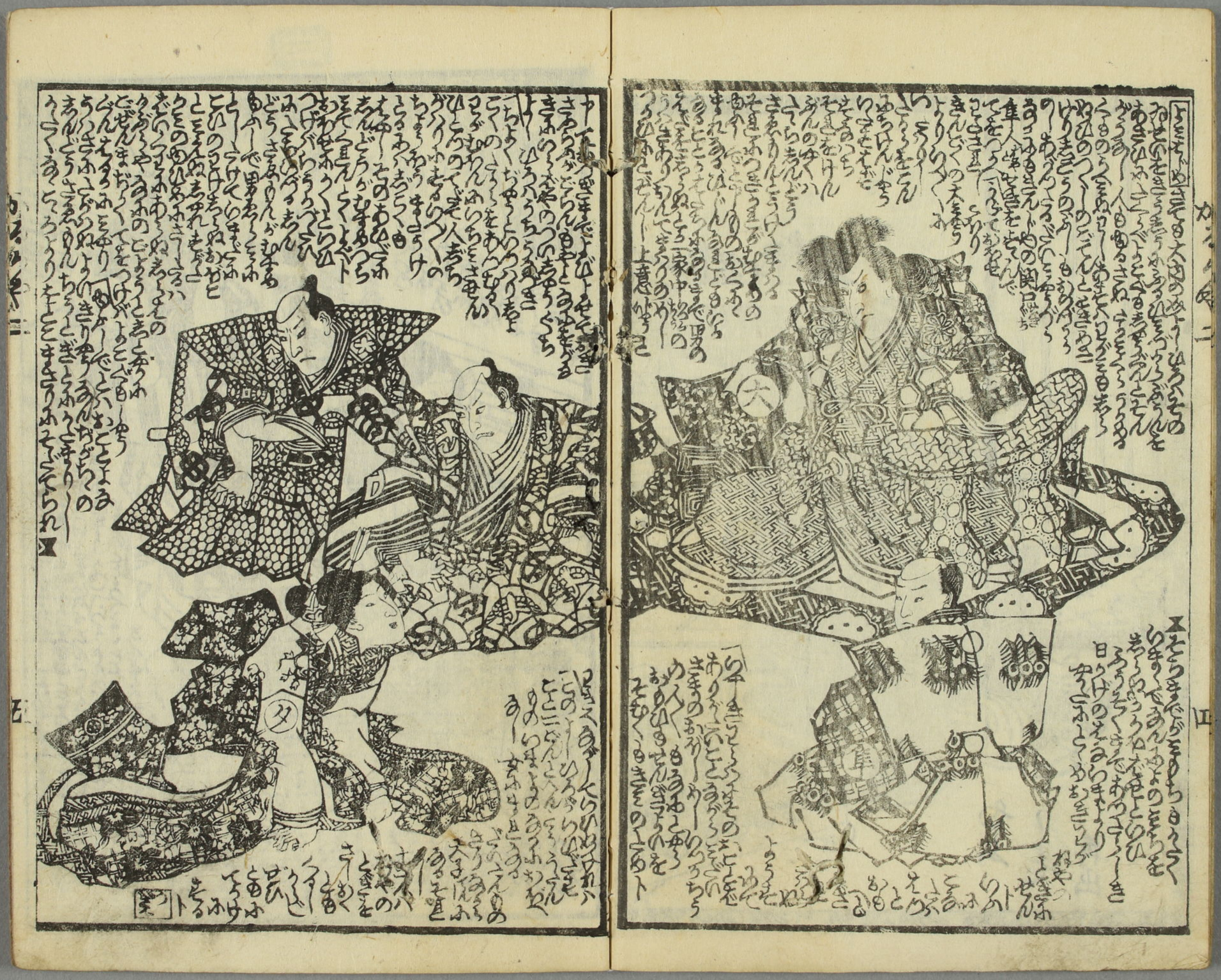
うら多々羅
しんどうさえもん
新洞左衛門
ひでつら
秀連

けんもつたろうつま
監物太郎妻
たちばな
橘立

けんもつたろう
監物太郎
のぶとし
信俊

再出


監物太郎弟
来原女之助



大
特

新
夕

新
菊壽香
一包 四十八文 三十二文
八重菊
一包 四十八文
菊の雪路
東花堂

嘉永二己酉春新刻目録

牡丹園女子莊子 初編 笠亭仙果作 一陽齋豊國画

繪本川中軍鑑 初編 玉蘭齋撰 二編 五雲亭貞秀画

實入穐花野苅萱 初編 二編 三編 柳下亭種員譯 一雄齋國輝画

七草四郎若菜嬢子 志ゝ嶋八譚 初編 柳下亭種員作 二編 一陽齋豊國画

東都地本錦繪板元 藤岡屋慶次郎版

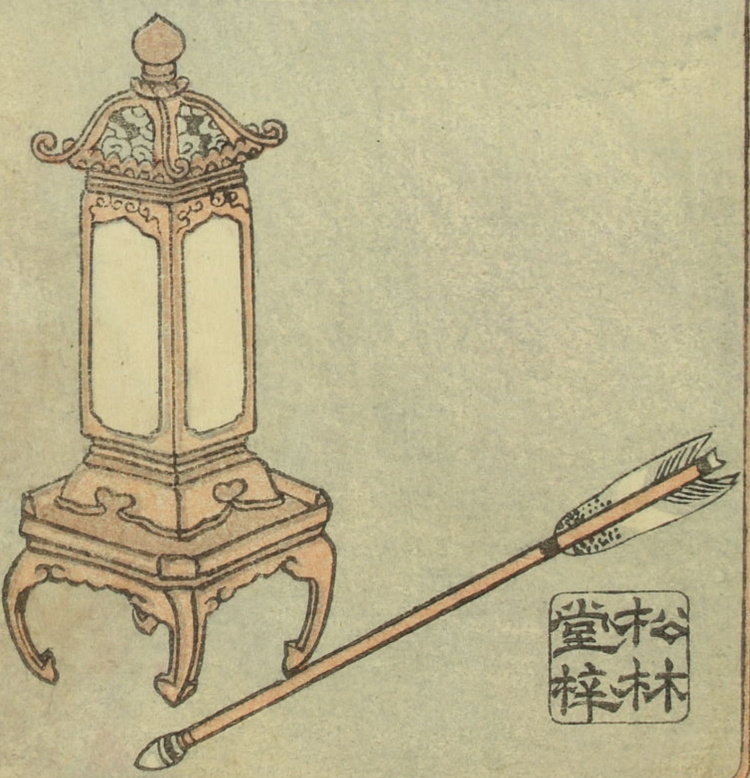
へ13
3766
4

葉那野神加西阿家

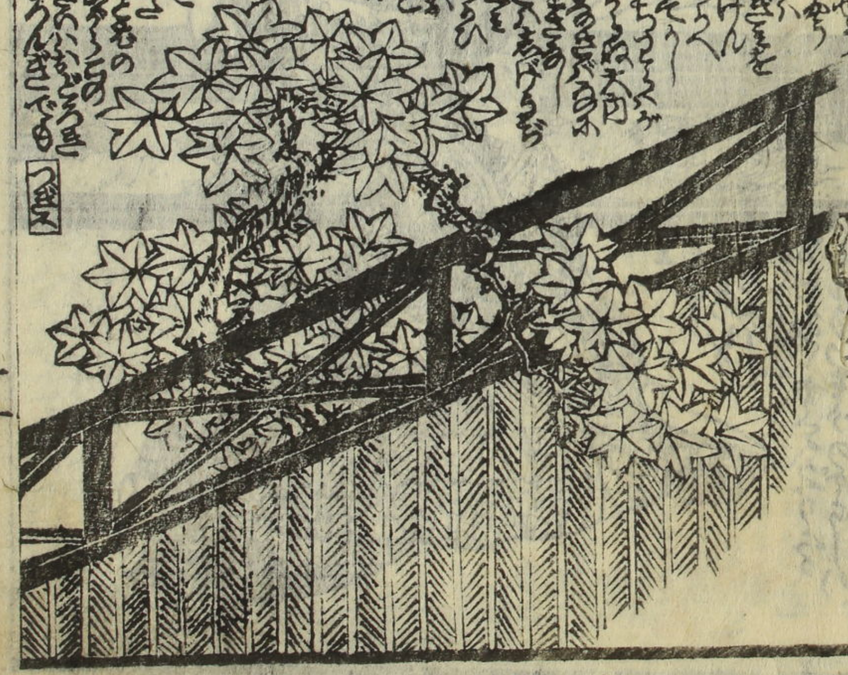
二編下巻

九編の巻

くみてとる面



松林堂梓



方
立
石
女

立
女

立
女
夕

四
立
新

新

立
女
夕

新
夕
立
監
女

監
新

石
監
立
夕
方
新
女

柳下亭種員筆話

一雄齋國輝画圖

龍天太郎英雄譚 六編 式亭小三馬作 七編 八編 一陽齋豊國画

五色染芋環冊子 二編 式亭小三馬作 三編 歌川豊國画

花白梅春風 初編 式亭小三馬作 三冊 一雄齋國輝画

落咲江戸嬉笑 初編 福亭三笑作 一雄齋國輝画

東錦繪地本屋 江戸通油町南側 藤岡屋慶次郎